

**募集 臨時保育士募集**

平成 23 年 4 月から市内公立保育所(園)で勤務する人を募集します。  
**【募集人数】** 5 人程度  
**【勤務時間】** 午前 8 時 30 分～午後 5 時 15 分 ※早出・遅出あり  
**【賃金】** 8,600 円(常勤)  
**【提出書類】** 履歴書・保育士証の写し  
 ※申込は随時受付  
**【申込先・問い合わせ】**  
 こども家庭課  
 ☎ 22-9655 FAX 22-9646

**募集 脂肪燃焼運動教室**

**【とき】** ※全 12 回  
 12 月 7 日～24 日、1 月 7 日～25 日の火・金曜日  
 午後 1 時～2 時  
**【ところ】** 青山保健センター運動施設  
**【内容】** インストラクターによる運動指導(水中歩行・有酸素運動など)  
**【参加費】** 運動施設利用料  
 ※運動プログラム時  
 ○ 65 歳未満の人：500 円  
 ○ 65 歳以上の人：300 円  
**【対象】** 18 歳以上の人  
**【定員】** 20 人  
**【申込受付開始日】** 12 月 2 日(木)  
**【問い合わせ】**  
 青山保健センター運動施設  
 ☎ 52-4100 ※月曜休館  
 (受付：午前 10 時～午後 7 時)

**子育てハッピー講演会**

**【とき】** 1 月 16 日(日)  
 開演：午後 1 時 30 分  
**【ところ】**  
 ふるさと会館いが 小ホール  
**【演題】**  
 子育てハッピー講演会  
 「笑って学ぶ子育てのコツ」  
 ～ケンカやトラブルは恐くない～  
 ※手話通訳あり  
**【講師】** キッズいわき・ぱふ  
 代表 岩城 敏之さん  
**【定員】** 100 人  
 ※応募者多数の場合抽選  
**【申込方法】**  
 ①電話②FAX③Eメール④郵送のいずれかでお申し込みください。  
 ②～④の場合は住所・氏名・電話番号を明記してください。  
**【申込期限】** 12 月 20 日(月)  
 ※講演会終了後、絵本・書籍の販売を予定  
 ※詳細は市ホームページに掲載  
 ※12 歳までの子ども対象の託児があります。定員は 20 人で完全予約制です。(託児予約は電話でのみ受け付けます。)  
**【提出先・問い合わせ】**  
 〒 518-8501  
 伊賀市上野丸之内 116 番地  
 伊賀市健康福祉部こども家庭課  
 ☎ 22-9658 FAX 22-9646  
 ☒ kodomo@city.iga.lg.jp

**宝くじおしゃべり音楽館  
～想い出のスクリーンミュージック～**

清水ミチコさんのおしゃべりと、小原孝さんのピアノ、島田歌穂さんの歌声、東京ニューシティ管弦楽団の演奏をお楽しみください。  
**【とき】** 3 月 12 日(出)  
 開場：午後 6 時  
 開演：午後 6 時 30 分  
**【ところ】** 伊賀市文化会館 ホール  
**【入場料】** 全席指定  
 大人 2,500 円  
 高校生以下 1,500 円  
 ※宝くじの助成により、特別料金となっています。  
 ※前売りで完売した場合は、当日券はありません。  
 ※未就学児の入場はご遠慮ください。  
**【入場券前売り開始日】**  
 1 月 15 日(出)  
**【入場券販売場所】** 伊賀市文化会館、ふるさと会館いが、青山ホール、あやま文化センター、サワノ楽器店、ジャスコ伊賀上野店、伊賀上野ケーブルテレビ(株)、岡森書店白鳳店、ブックスアルデ近鉄店、チケットぴあ、ローソンチケット、三重県文化会館WEBチケットサービス エムズネット (<http://www3.center-mie.or.jp/tickets/>)  
**【問い合わせ】**  
 伊賀市文化会館 ☎ 24-7015  
 企画課  
 ☎ 22-9621 FAX 22-9628

**聴診器  
市民病院だより**



**テストステロンと薬指**

泌尿器科 小林 一昭



『女は男の指を見る』竹内久美子著(新潮新書)にはとても興味深い内容が書かれています。指比(薬指の長さに対する人差し指の長さ)の値が低いほど、つまり薬指が長いほど「できる男」であると。プロのサッカー選手、有名な交響楽団の団員は薬指が相対的に長いことがわかっています。またイギリスの株のトレーダーの比較で、指比が低いグループのほうが高いグループより、一桁も収入が多いとの研究結果もあります。

人差し指の長さに対する薬指の相対的な長さは、男性ホルモンのテストステロンに密接に関連しており、男の赤ちゃんは母親のお腹にいるときに、自分の睾丸からテストステロンを放出し、男としての体の原型をつくります。このテストステロンが高いと薬指が人差し指に対してより長くなる。テストステロンは男としての体の特徴や、音楽やスポーツの才能、能力、精神面では自信や集中

力などに影響を与えることがわかっています。またテストステロンは良い面ばかりではなく、病原体と戦う力である免疫力を抑制する作用があります。泌尿器科領域における前立腺がんの治療に、このテストステロンを抑える治療があります。男は生まれる前から命取りになるかも知れない物質を一生懸命つくり出し、男の魅力をアピールし、一方で免疫力を弱めている。それでも「そのハンデに打ち勝って元気です」「それほどももとの免疫力に余裕がありますよ」と示して頑張っている。古来、女は子孫(遺伝子)を残すために、感染症などに立ち向かう、より免疫力の強い男を選ぶ必要があった、と。そのポイントが薬指。薬指に結婚指輪をする意味も頷けます。

ところで男性で薬指が長なくても気落ちすることはありません。著書を読んでもらえば納得されると思います。僕の薬指も長くありません。



## — 12月の3病院救急輪番体制 —

\*小児科以外の診療科目での輪番制です。

日	月	火	水	木	金	土
			1 岡波	2 名張	3 上野	4 名張
5 名張	6 岡波	7 名張	8 上野	9 名張	10 岡波	11 上野
12 岡波	13 名張	14 名張	15 岡波	16 名張	17 上野	18 名張
19 名張	20 上野	21 名張	22 上野	23 名張	24 岡波	25 上野
26 岡波	27 名張	28 名張	29 岡波	30 名張	31 上野	

※重傷者が重なり、診られない場合があります。また、非当番日は救急の受け入れを行いませんのでご注意ください。  
 ※二次救急（重症）の人が対象となります。  
 ※上野総合市民病院では、入院が必要な内科系救急患者をほかの地域の救急病院に搬送させていただきます。

実施時間帯	
平日	午後5時～ 翌日午前8時45分
土・日 祝日 年末年始	午前8時45分～ 翌日午前8時45分

**救急医療機関を受診する際のお願い**

- \*できるだけ医療機関の通常の診療時間内に受診しましょう。
- \*かかりつけ医院を持ちましょう。
- \*休日や夜間に急病で受診するときは、まずは一次救急（地域の診療所、伊賀市応急診療所など）をご利用ください。

**＜伊賀市応急診療所（一次救急）＞**

**【所在地】** 上野桑町 1615番地 ☎ 22-9990

**【診療科目】** 一般診療・小児科

**【診療時間】** 月～土曜日：午後8時～11時  
 日曜日・祝日・年末年始：午前9時～正午、午後2時～5時、午後8時～11時  
 ※受付は、診療終了時間の30分前までをお願いします。

## 募集 『21世紀の提言 新しい世代を育てる』

～「感謝と勇気」たいせつなその心～

（社）伊賀法人会では、青年部会創立20周年を記念して、金美齢さんの講演会を行います。

**【とき】**

1月30日(日)  
 開場：午後1時  
 開演：午後1時30分

**【ところ】**

伊賀市文化会館

**【定員】**

1,200人

※聴講には入場整理券が必要です。

**【入場整理券配布開始日】**

12月1日(水)  
 ※先着順（1人2枚まで）

**【入場整理券配布場所】**

伊賀市文化会館・ふるさと会館いが・青山ホール・あやま文化センター・上野商工会議所・（社）伊賀法人会事務局・名張商工会議所・（株）アドバンスコープADSホール・伊賀市商工会・伊賀青色申告会

**【問い合わせ】**

（社）伊賀法人会事務局  
 ☎ 24-5774 FAX 24-5796



## 人権学習 — 阿山支所住民福祉課 —

■このコラムは毎回いろいろなテーマで人権についてお話しています。

2度にわたる世界大戦の体験から「恒久平和」を願い1948年12月10日第3期国連総会において、「世界人権宣言」が採択されました。これを受けて、12月10日を「世界人権デー」、その1カ月前の11月11日から12月10日を「差別をなくす強調月間」と定め、期間中に各地で人権に関する催しが開催されています。

伊賀市でも、人権作品の表彰などを行っており、作品を通して子どもたちの人権に対する真剣な思いを感じ取ることができます。学校での人権学習で正しい知識や認識を身につける機会が増えたからだと思います。

人権学習に対しては、「何ら自分には関係ないことだ」「知らない人にまで教えるから差別が残る」といった否定的な意見も聞くことがありますが、「自分には関係ない、知らないこと」と済ませていれば、間違った情報を得ても判断できず、差別を助長してしまうことになりかねません。また、自分自身が「差別を受ける側」になることもありえるのではないのでしょうか。

まず、自分にとって人権問題とは何かを改めて問いか

け、自らや大切な家族の人権を守るために、その大切さを知ることからはじめてみてはいかがでしょうか。そして自分も相手も大事であることを認識してこそ、お互いの人権が尊重されるのだと思います。

10月に、地域の「地区懇談会」に参加しました。「人を傷つけない言葉であれば自由に思ったことを言ってください」などの説明の後、身近なテーマでグループで話し合いをしましたが、聞き役に徹している人がいました。顔なじみばかりで言いにくいのかとは思いましたが、言葉に出さないとはいは伝わりません。言葉は相手を傷つけることもあります。相手を思う気持ちがあれば、思いは通じます。人権学習というと特別なことと思いがちですが、普段の生活の中で、「何かおかしいな」「何でそんなこと言うんやろ」と疑問を持つことが人権学習の第1歩だと思います。

まずは身近な家族で話し合ってください。その輪が広まれば、人権尊重のまちづくりに発展するのではないのでしょうか。